

製品名: NCKX1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14448**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	125kDa

抗原情報

遺伝子名	SLC24A1
別名	SLC24A1; KIAA0702; NCKX1; Sodium/potassium/calcium exchanger 1; Na(+)/K(+)/Ca(2+)-exchange protein 1; Retinal rod Na-Ca+K exchanger
遺伝子 ID	9187.0
SwissProt ID	O60721
免疫原	抗血清はヒト SLC24A1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 154-203

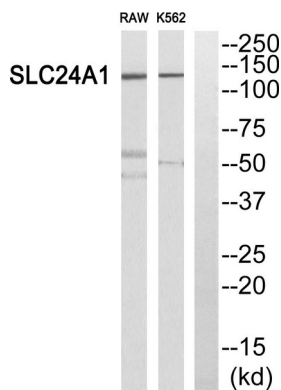
背景

この遺伝子は、カリウム依存性ナトリウム/カルシウム交換タンパク質ファミリーのメンバーをコードしています。コードされている

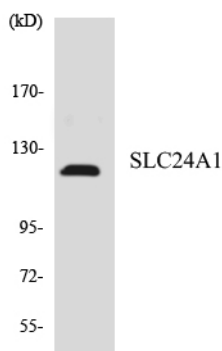
タンパク質は、4つのナトリウムイオンと交換するために1つのカルシウムイオンと1つのカリウムイオンを排出することにより、網膜の桿体および錐体光受容体におけるナトリウム/カルシウム交換において重要な役割を果たしています。この遺伝子の変異は、先天性夜盲症に関与している可能性があります。この遺伝子については、複数のアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが観察されています。[RefSeq 提供、2011年12月]機能: 視覚伝達カスケードの重要な構成要素であり、明暗時に外節のカルシウム濃度を制御します。光は、網膜の桿体および錐体光受容体の両方の外節における細胞質遊離カルシウムの急速な低下を引き起こし、光誘導性カルシウム低下は、光順応の過程で重要な役割を果たすこのタンパク質を介した排出によって引き起こされます。1個のCa(2+)と1個のK(+)を4個のNa(+)と交換して輸送する。、PTM:切断されていないシグナル配列は、効率的な膜標的化と適切な膜統合に必要である。、類似性:ナトリウム/カリウム/カルシウム交換輸送体ファミリーに属する。SLC24Aサブファミリー。、組織特異性:網膜桿体光受容体の外節にのみ存在する。、

研究分野

画像データ



SLC24A1 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンは SLC24A1 ペプチドでブロッキングされている。



SLC24A1 抗体を使用した HepG2 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。